



S第 1-200145 号

令和 4年 7月 20日

佐渡砕石協同組合

理事長

清水 正秀

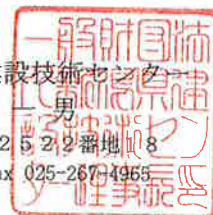
様

一般財団法人 新潟県建設技術センター

理事長 中田 一男

〒950-1101 新潟市西区山田2-5-2番地 8

Tel. 025-267-2191 Fax 025-267-4965



## 土 質 試 験 結 果 報 告 書

下記試験の結果を別紙のとおり報告します。

### 記

試 料 名 As再生クラッシャーラン ARC-40(RC混合)混入率20%

採取地又は産地 新潟県佐渡市梅津地内  
梅津リサイクルプラント(大和産業㈱内)

工 事 名 等 -----

試 験 項 目 土の液性限界・塑性限界試験  
骨材のふるい分け試験  
CBR試験(修正CBR)

【注意】 当センターの書面による承認がない限り、本報告書の一部だけの複製を禁ずる。  
申込事項に関する記述は顧客の申告による。

# 土質試験結果一覧

令和 4年 7月20日

調査件名	S 1-200145
採取地又は産地	新潟県佐渡市梅津地内 梅津リサイクルプラント(大和産業㈱内)
試験担当者	山口 敏彦
試料番号(深さ)	1

試験項目	ふるい分け (通過質量百分率) %					
	53 mm	37.5 mm	19.0 mm	4.75 mm	2.36 mm	
試験値	100	100	65	29	18	—
規格値	100	95~100	50~80	15~40	5~25	

試験項目	自然含水比 %	液性限界 $w_L$ %	塑性限界 $w_p$ %	塑性指数 $I_p$
試験値	—	NP	NP	NP

試験項目	最適含水比 $w_{opt}$ %	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ Mg/m <sup>3</sup>	修正CBR % (締固め度 95%)	すりへり減量 %
試験値	8.0	1.99	66.58	—

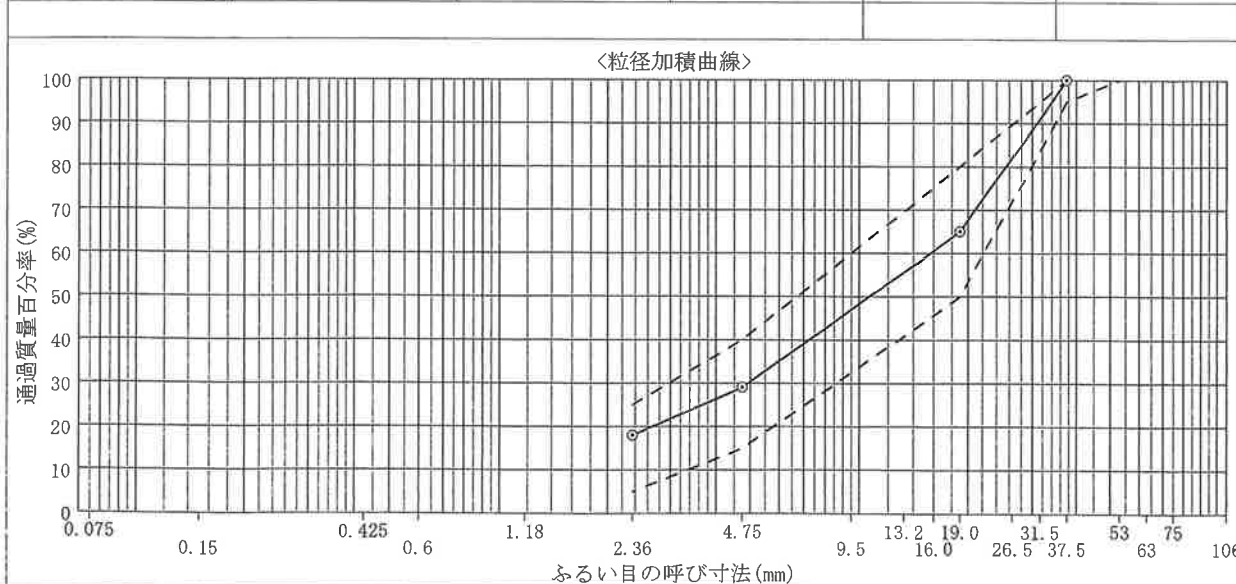
特記事項

JIS A 1102	骨材のふるい分け試験
------------	------------

調査件名 S1-200145	試験年月日 令和4年6月15日
試料名 1	試験者 渡辺 和史

試料の種類	—	採取年月日	令和一年-月-日
試料の採取場所	—	採取者	—
全乾燥試料質量	9101 g	ふるい分け方法	手動

ふるい目の開き (mm)	各ふるいとどまる 質量 (g)	連続する各ふるいの 間にとどまる質量 (g)	連続する各ふるいの 間にとどまる質量分率 (%)	各ふるいとどまる 質量分率 (%)	各ふるいを通過する 質量分率 (%)
106					
75					
63					
53	0	0	0	0	100
37.5	0	0	0	0	100
31.5					
26.5					
19.0	3153	3153	35	35	65
16.0					
13.2					
9.5					
4.75	6490	3337	36	71	29
2.36	7489	999	11	82	18
1.18					
0.6					
0.425					
0.15					
0.075					
以下(受皿)	9101	1612	18	100	0
計	9101	9101	100		



備考 なし

調査件名 S1-200145

試験年月日 令和 4年 6月 17日

試験者 井上 道明

試料番号 (深さ) 1

液性限界試験		塑性限界試験		液性限界 $w_L$ %
落下回数	含水比 $w$ %	含水比 $w$ %		NP
				塑性限界 $w_p$ %
				NP
				塑性指数 $I_p$
				NP
ヒモ状にならず試験不能				

試料番号 (深さ)

液性限界試験		塑性限界試験		液性限界 $w_L$ %
落下回数	含水比 $w$ %	含水比 $w$ %		
				塑性限界 $w_p$ %
				塑性指数 $I_p$

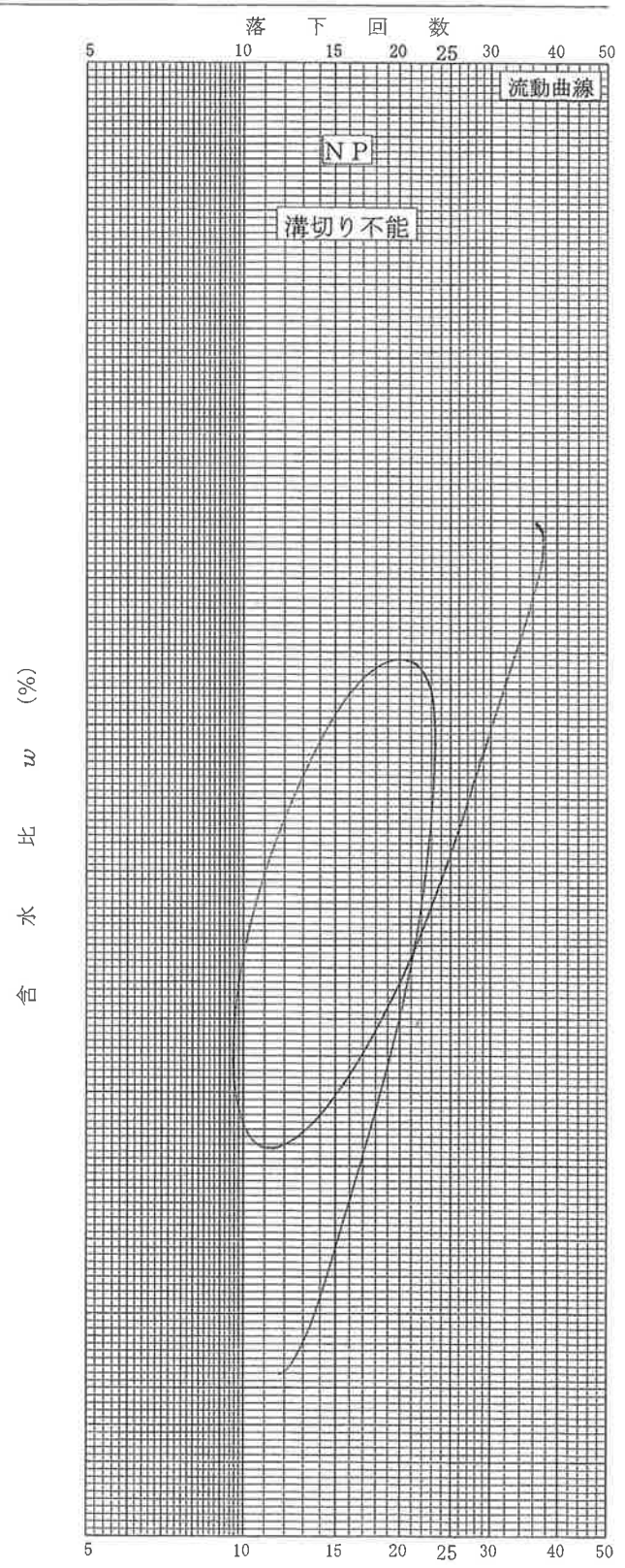
試料番号 (深さ)

液性限界試験		塑性限界試験		液性限界 $w_L$ %
落下回数	含水比 $w$ %	含水比 $w$ %		
				塑性限界 $w_p$ %
				塑性指数 $I_p$

試料番号 (深さ)

液性限界試験		塑性限界試験		液性限界 $w_L$ %
落下回数	含水比 $w$ %	含水比 $w$ %		
				塑性限界 $w_p$ %
				塑性指数 $I_p$

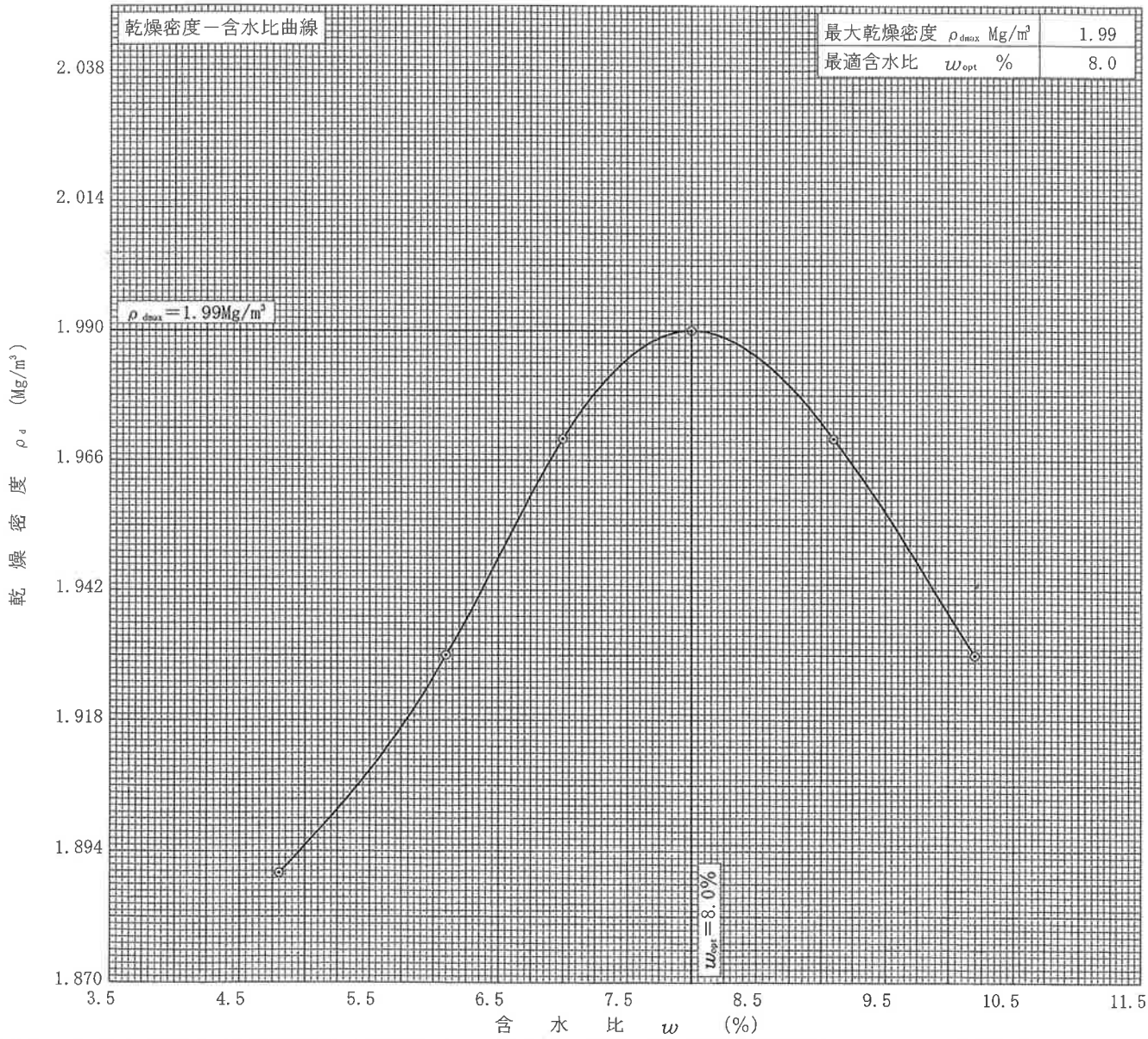
特記事項  
なし



調査件名 S1-200145 試験年月日 令和 4年 6月 24日

試料番号 (深さ) 1 試験者 山口 敏彦

試験方法	E-b		土質名称		-			
試料の準備方法	乾燥法, <del>湿潤法</del>		ランマー質量 kg	4.5	土粒子の密度 $\rho_s$ Mg/m <sup>3</sup>	-		
試料の使用方法	<del>繰返し法</del> , 非繰返し法		落下高さ mm	450	試料調製前の最大粒径 mm	-		
含水比	試料分取後 $w_0$ %	-		突固め回数 回/層	92	モールド	内径 mm	150
	乾燥処理後 $w_1$ %	2.8		突固め層数 層	3		高さ <sup>1)</sup> mm	125.0
測定 No.	1	2	3	4	5	6	7	8
平均含水比 $w$ %	4.8	6.1	7.0	8.0	9.1	10.2		
乾燥密度 $\rho_d$ Mg/m <sup>3</sup>	1.89	1.93	1.97	1.99	1.97	1.93		



特記事項 1) 内径150mmのモールドの場合はスペーサーディスクの高さを差引く。  
ゼロ空気間隙曲線の計算式  
$$\rho_{dsat} = \frac{\rho_w}{\rho_w/\rho_s + w/100}$$

調査件名 S1-200145

試験年月日 令和 4年 7月 4日

試料番号 (深さ) 1

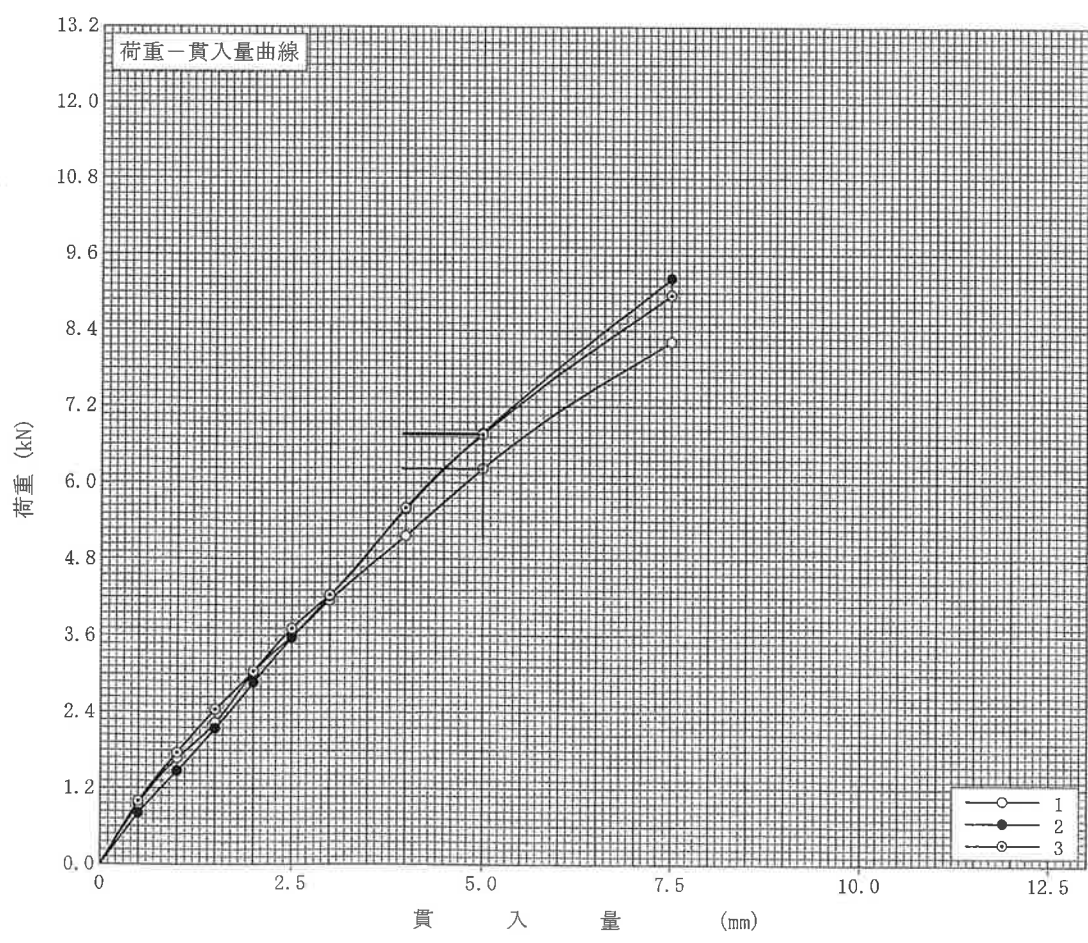
試験者 山口 敏彦

試験方法	<del>締固めた土, 粗さの土</del>	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	—	
突固め方法	—	落下高さ	mm	450	空気乾燥前含水比 %	—	
試料の準備方法	<del>非乾燥法</del> , 空気乾燥法	突固め回数	回/層	17	自然含水比 $w_n$ %	—	
試験条件	水浸, <del>非水浸</del>	突固め層数	層	3	最適含水比 $w_{opt}$ %	8.0	
養生条件	— 日空气中	モールド	内径	mm	150	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ Mg/m <sup>3</sup>	1.99
	4 日水浸		高さ <sup>D)</sup>	mm	125		

供試体 No.		1	2	3	
吸水膨張試験	前	含水比 $w_1$ %	7.7	8.0	8.0
		乾燥密度 $\rho_d$ Mg/m <sup>3</sup>	1.78	1.79	1.79
	後	膨張比 $r_e$ %	0.01		
		平均含水比 $w'$ %	12.4		
		乾燥密度 $\rho'_d$ Mg/m <sup>3</sup>	1.78		
貫入試験	試験後の含水比 $w_2$ %	11.4	11.4	11.6	
	貫入量2.5mmにおけるCBR%	26.72	26.57	27.69	
	貫入量5.0mmにおけるCBR%	31.26	34.07	33.97	
	C B R %	31.26	34.07	33.97	

平均 C B R %
33.10

特記事項  
1) スペーサーディスクの高さを差引く。



[1MN/m<sup>2</sup> ≒ 10.2kgf/cm<sup>2</sup>]  
[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0
供試体 No.1	3.58	6.22
供試体 No.2	3.56	6.78
供試体 No.3	3.71	6.76
標準荷重強さ MN/m <sup>2</sup>	6.9	10.3
標準荷重 kN	13.4	19.9

調査件名 S1-200145

試験年月日 令和 4年 7月 4日

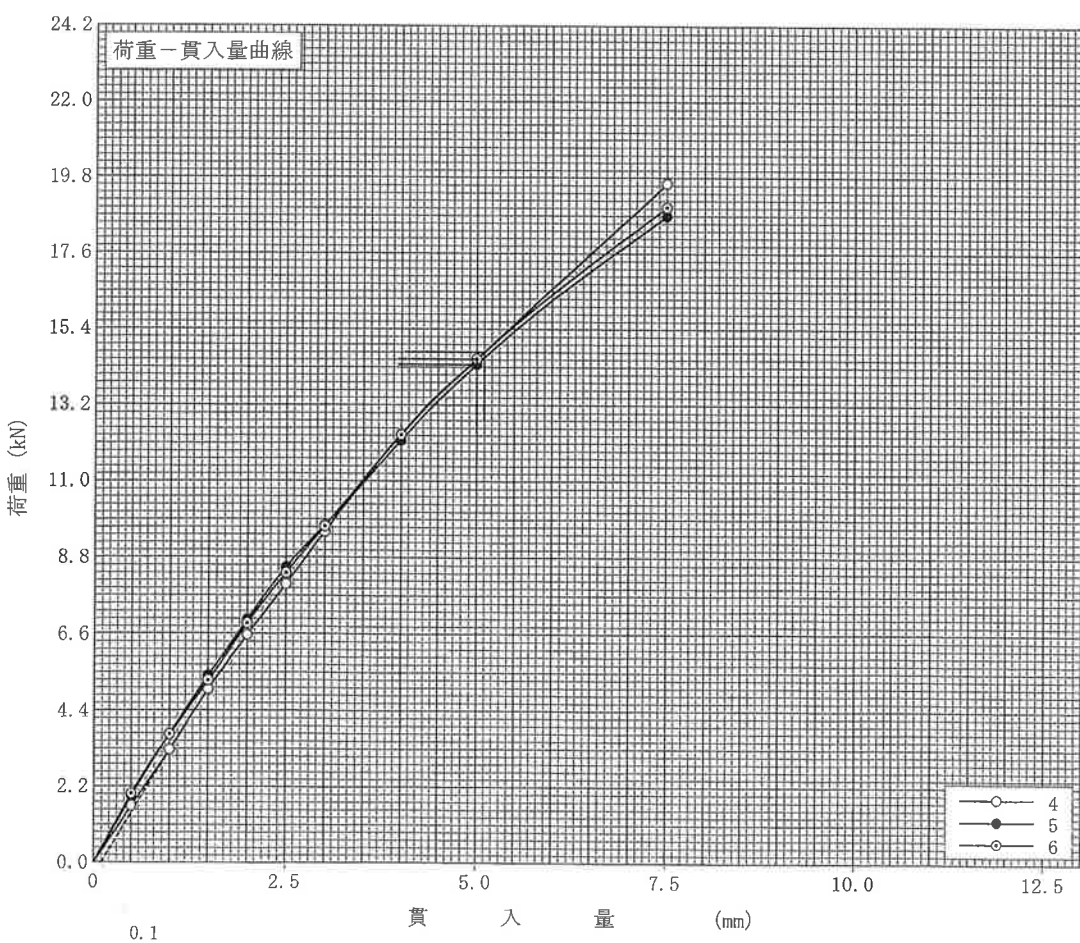
試料番号 (深さ) 1

試験者 山口 敏彦

試験方法	締固めた土, <del>乱さない土</del>	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	—	
突固め方法	—	落下高さ	mm	450	空気乾燥前含水比 %	—	
試料の準備方法	井乾燥法, 空気乾燥法	突固め回数	回/層	42	自然含水比 $w_n$ %	—	
試験条件	水浸, <del>非水浸</del>	突固め層数	層	3	最適含水比 $w_{opt}$ %	8.0	
養生条件	— 日空气中	モールド	内径	mm	150	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ Mg/m <sup>3</sup>	1.99
	4 日水浸		高さ <sup>1)</sup>	mm	125		

供試体 No.		4	5	6	
吸水膨張試験	前	含水比 $w_1$ %	8.1	7.3	8.0
		乾燥密度 $\rho_d$ Mg/m <sup>3</sup>	1.91	1.90	1.91
	後	膨張比 $r_e$ %	0.00		
		平均含水比 $w'$ %	11.5		
	乾燥密度 $\rho'_d$ Mg/m <sup>3</sup>	1.91			
貫入試験	試験後の含水比 $w_2$ %		10.6	10.2	10.3
	貫入量2.5mmにおけるCBR%		62.09	63.43	62.24
	貫入量5.0mmにおけるCBR%		74.02	72.21	73.02
	C B R %		74.02	72.21	73.02

平均 C B R %
73.08



特記事項  
1) スペーサーディスクの高さを差引く。

[1MN/m<sup>2</sup> ≒ 10.2kgf/cm<sup>2</sup>]  
[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0
荷重		
供試体 No.4	8.32	14.73
供試体 No.5	8.50	14.37
供試体 No.6	8.34	14.53
標準荷重強さ MN/m <sup>2</sup>	6.9	10.3
標準荷重 kN	13.4	19.9

調査件名 S1-200145

試験年月日 令和 4年 7月 4日

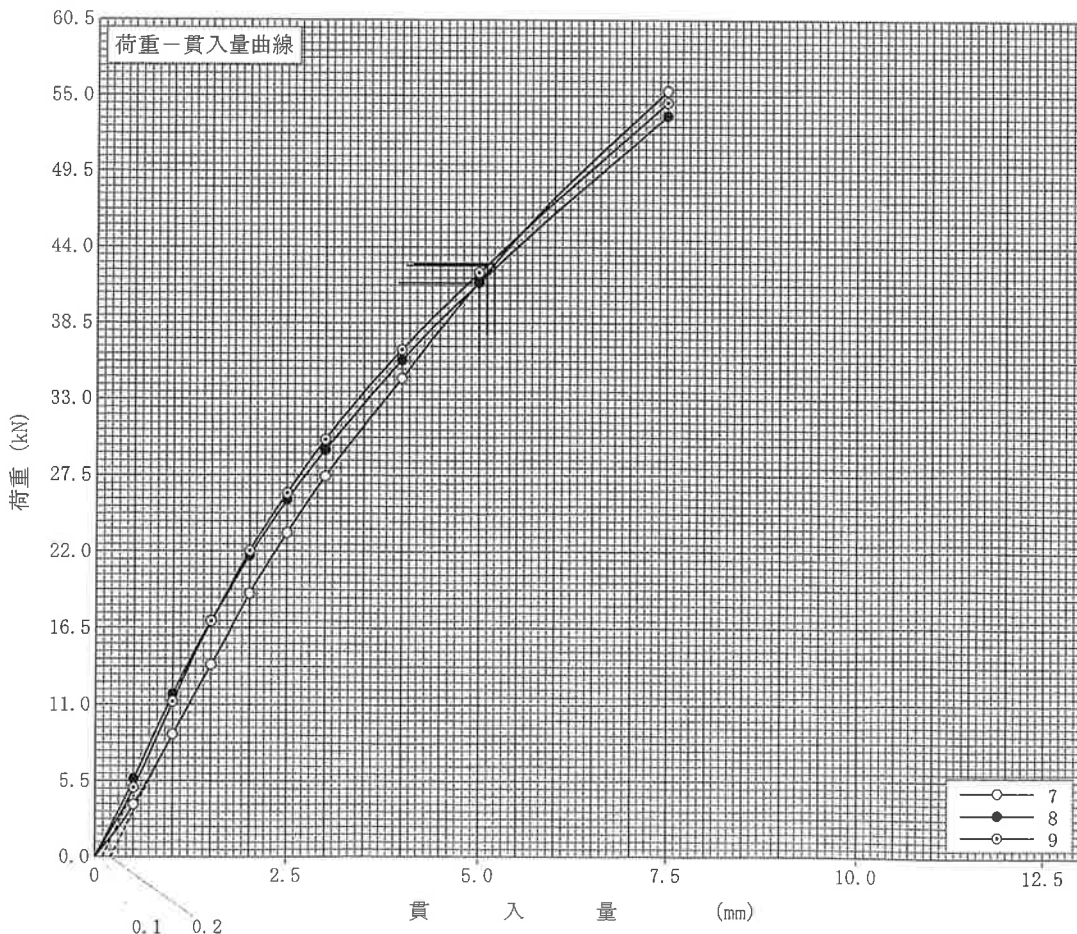
試料番号 (深さ) 1

試験者 山口 敏彦

試験方法	締固めた土, 乱さない土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	—	
突固め方法	—	落下高さ	mm	450	空気乾燥前含水比 %	—	
試料の準備方法	非乾燥法, 空気乾燥法	突固め回数	回/層	92	自然含水比 $w_n$ %	—	
試験条件	水浸, <del>非水浸</del>	突固め層数	層	3	最適含水比 $w_{opt}$ %	8.0	
養生条件	— 日空气中	モールド	内径	mm	150	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ Mg/m <sup>3</sup>	1.99
	4 日水浸		高さ <sup>1)</sup>	mm	125		

供試体 No.		7	8	9	
吸水膨張試験	前	含水比 $w_1$ %	8.0	7.6	8.0
		乾燥密度 $\rho_d$ Mg/m <sup>3</sup>	1.99	1.98	1.99
	後	膨張比 $r_e$ %	0.00		
		平均含水比 $w'$ %	10.6		
		乾燥密度 $\rho'_d$ Mg/m <sup>3</sup>	1.99		
貫入試験	試験後の含水比 $w_2$ %		9.4	9.7	9.7
	貫入量2.5mmにおけるCBR%		186.42	191.64	201.34
	貫入量5.0mmにおけるCBR%		215.08	208.09	214.42
	C B R %		215.08	208.09	214.42

平均 C B R %
212.53



特記事項  
1) スペーサーディスクの高さを差引く。

[1MN/m<sup>2</sup> ≒ 10.2kgf/cm<sup>2</sup>]  
[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0
貫入荷重 (kN)		
供試体 No.7	24.98	42.80
供試体 No.8	25.68	41.41
供試体 No.9	26.98	42.67
標準荷重強さ MN/m <sup>2</sup>	6.9	10.3
標準荷重 kN	13.4	19.9



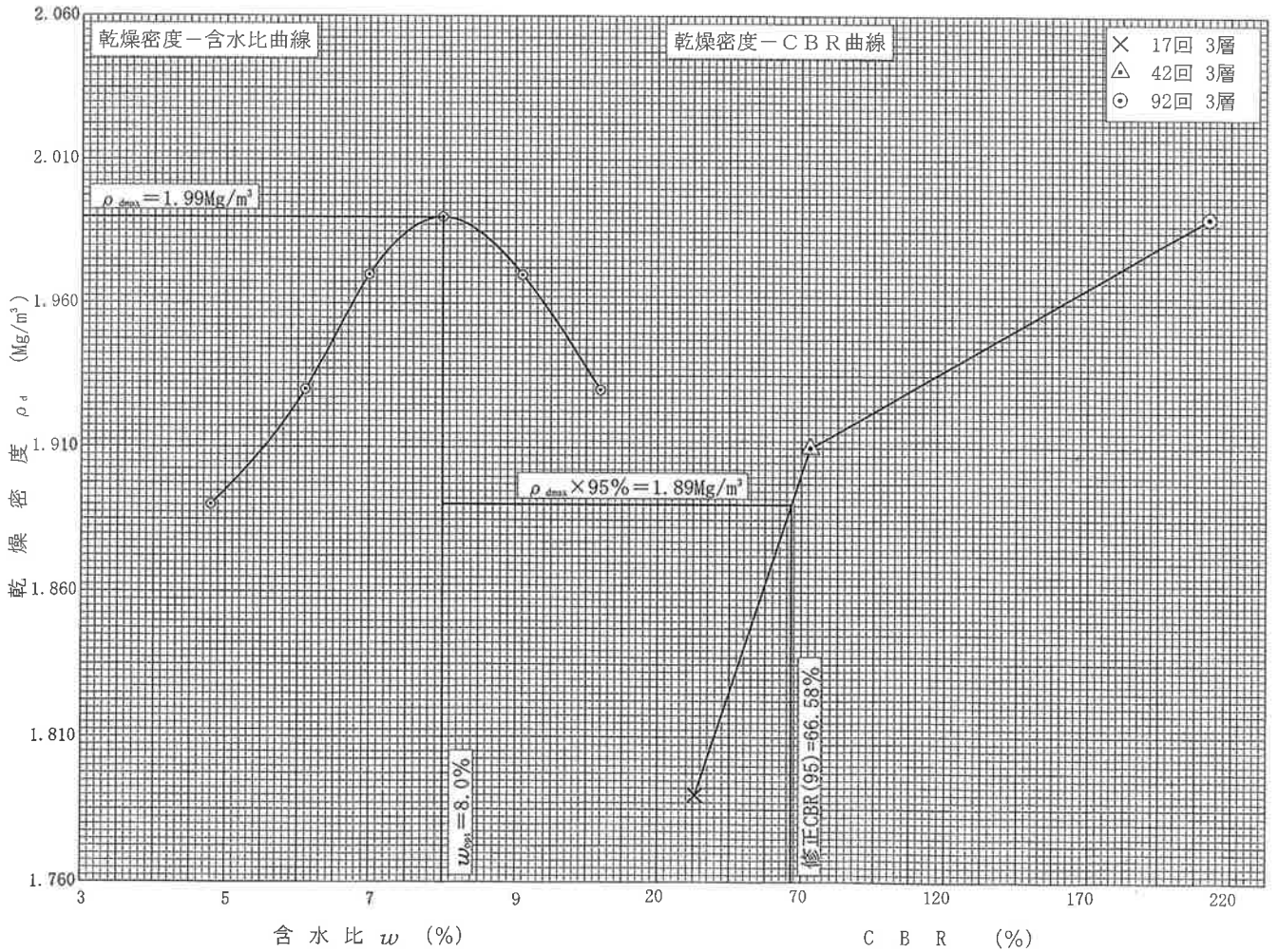
調査件名 S1-200145

試験年月日 令和 4年 7月 14日

試料番号 (深さ) 1

試験者 山口 敏彦

突固め回数 回/層	17 (3層)			42 (3層)			92 (3層)			
供試体 No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
乾燥密度 $\rho_d$ Mg/m <sup>3</sup>	1.78	1.79	1.79	1.91	1.90	1.91	1.99	1.98	1.99	
平均値 $\rho_d$ Mg/m <sup>3</sup>	1.79			1.91			1.99			
貫入量2.5mmにおけるCBR %	26.72	26.57	27.69	62.09	63.43	62.24	186.42	191.64	201.34	
平均値 %	26.99			62.59			193.13			
貫入量5.0mmにおけるCBR %	31.26	34.07	33.97	74.02	72.21	73.02	215.08	208.09	214.42	
平均値 %	33.10			73.08			212.53			
ランマー質量 kg	4.5	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ Mg/m <sup>3</sup>			1.99			締固め度 %		
	—	最適含水比 $w_{opt}$ %			8.0			修正 C B R %		
								95		
								66.58		



特記事項  
なし